

# かけはし

【重点教育目標】  
「自分の考えをもち、適切に  
伝えることができる生徒の育成」  
第 3 号

令和 6 年 6 月 7 日 (金)

## ウェルビーイングを実感できる学校を

校長 池田 浩司

この度は、本校に関わる報道や体育大会実施に際してのご意見をいただき、ありがとうございました。体育大会での力強い応援に元気をいただきました。今後も、何より生徒が安全・安心して学校生活を送ることができ、保護者・地域住民から信頼される学校を目指して教育活動に取り組みますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

### ◆ウェルビーイングな学校を目指して

身体的・精神的・社会的に良好な状態であることを意味する〈ウェルビーイング：well-being〉というキーワードが最近多く見られます。これは、2023年6月、新たな「教育振興基本計画」が出され、その中では「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」がコンセプトの一つになっています。ユニセフのレポート（2020年）によると、日本は子どもの精神的幸福度が37位（38か国中）と最下位に近い結果でした。

「全国学力・学習状況調査」の生徒質問紙の結果で、毎年注目している11個の質問項目があります。今年度の本校3年生の「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」「よくある・ときどきある」の回答率を全国平均と比較してみました。

#### <全国平均より高い項目>

- 自分には、よいところがあると思う
- 将来の夢や目標を持っている
- 人が困っているときは、進んで助けている
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
- 人の役に立つ人間になりたいと思う
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい
- 友達関係に満足している
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

#### <全国平均より低い項目>

- △先生は、あなたのよいところを認めていると思う
- △いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- △学校に行くのは楽しいと思う

特に、「自分にはよいところがある」（82%）という自己肯定感があり、「人の役に立つ人間になりたいと思う」（96.9%）という自己有用感を求めていることがわかります。また、「友達関係に満足している」（93.1%）ことが「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」（87%）つまりウェルビーイングにつながっているのだと感じます。

一方、「先生は、あなたのよいところを認めていると思う」（86.3%、全国より1%低い）については、もっと「認めている」と思えるように、教員側も働きかけていきます。

そして、一番気になるのが「学校に行くのは楽しいと思う」が78.2%だったことです（全国平均は81.8%）。「学校に行くのは楽しいと思う」が100%になり、生徒全員が「ウェルビーイング」を実感できる学校をさらに目指していきます。子どもたちの幸せのために、これからもあたたかいご協力・ご支援をお願いいたします。